

週間漁海況情報 2021年第8号

令和3年2月22日発行

徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課海洋生産技術担当

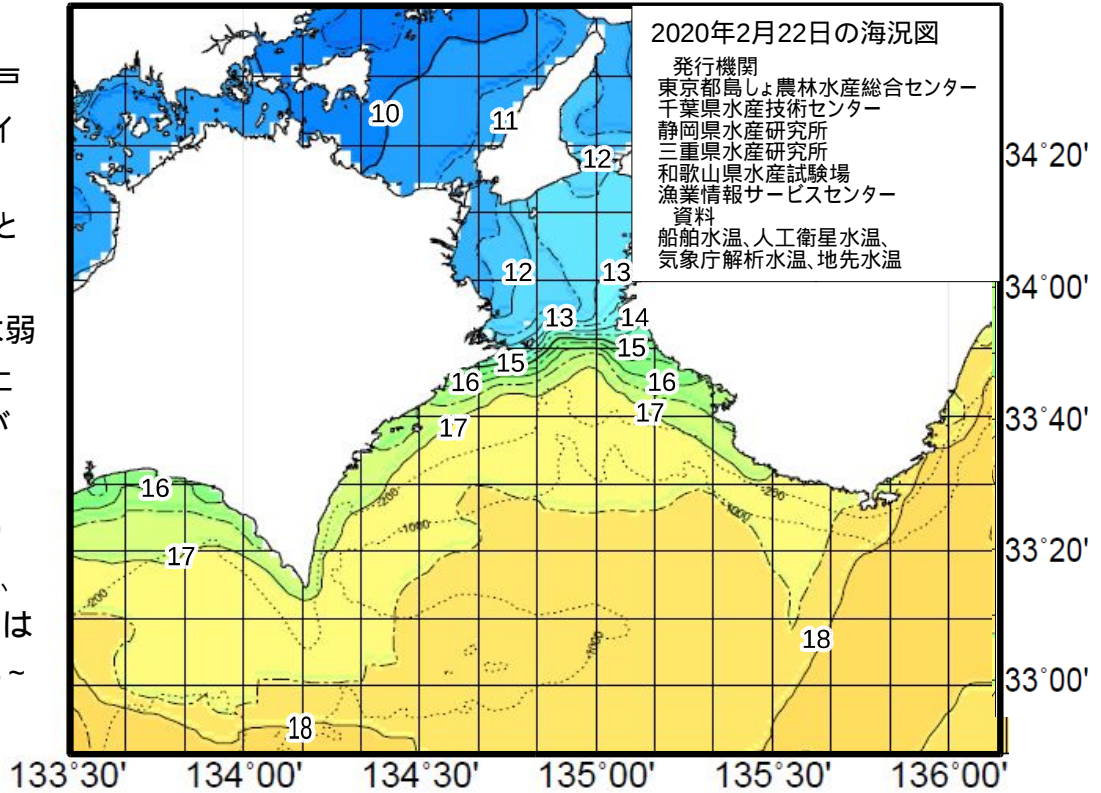
海況

1. 周辺海域の水温等

紀伊水道沖の黒潮は、室戸岬沖51マイル、潮岬沖93マイルを流れ、室戸岬沖で「離岸」、潮岬沖で「著しく離岸」となっている。

黒潮からの暖水の流入は弱く、紀伊水道から海部沿岸上灘に13~14 台の内海水が南下している。

黒潮の表面水温は19~20 台。徳島周辺海域の水温は、播磨灘は10 台、紀伊水道は11~12 台、海部沿岸は13~17 台となった。



黒潮の離接岸の表現

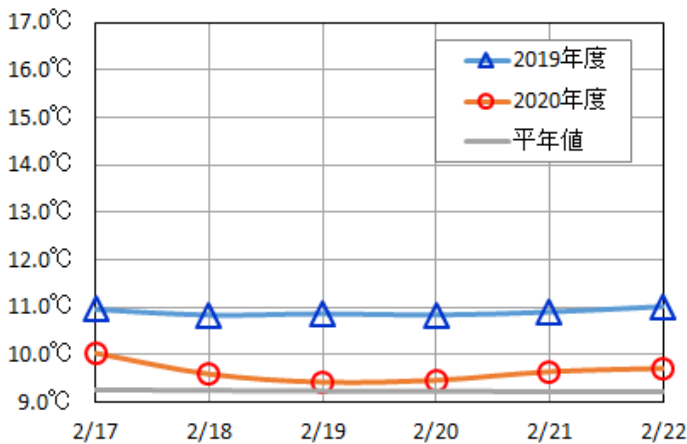
(いずれも正南方向)
室戸岬沖 接岸: ~25NM やや離岸: 25~45NM 離岸: 45~65NM 著しく離岸: 65NM~
潮岬沖 接岸: ~26NM やや離岸: 26~56NM 離岸: 56~86NM 著しく離岸: 86NM~

直近4日分の海況図を水産研究課HPに掲載しています。

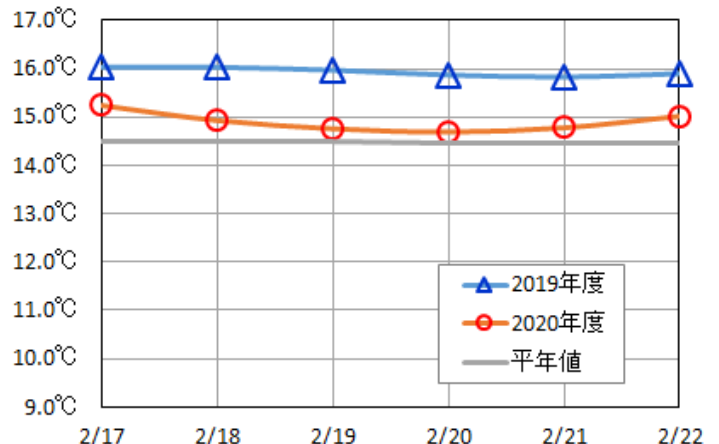
2. 地先水温 (2021年2月17~2月22日)

鳴門地区の水温は気温の影響を受け「平年並み」からの「やや高め」、9.4~10.0 で推移した。日和佐地区の水温は「平年並み」から「やや高め」の14.7~15.2 で推移した。鳴門と日和佐地区の水温差は5.1~5.3 になった。

鳴門地区



日和佐地区



水温の高低 平年並み: 平年値 ±0.5 未満, やや高め/やや低め: 平年値 ±0.5 以上1.5 未満
 高め/低め: 平年値 ±1.5 以上2.5 未満, かなり高め/かなり低め: ±2.5 以上
 平年値 1984年~2018年の平滑平均値

3. 週間予報 (2月23日~3月2日)

黒潮は、室戸岬沖で「離岸」、潮岬沖で「著しい離岸」で推移する見込み。

地先水温は、鳴門地区は「平年並み」から「やや高め」、日和佐地区は「やや高め」で推移する見込み。

漁況 2021年2月15日～2月21日

今年になって初めて海部沿岸の大型定置網に大型のブリがまとまって入網した。

1. 紀伊水道（標本漁協：4）

延縄では、タチウオが大きく減って特大主体に0.9トﾝ、ブリが大きく減ってメジロ級主体に0.4トﾝ水揚げされた。

建網では、カワハギが大主体に0.2トﾝ水揚げされた。

小型定置網では、ブリが大きく増えて1.3トﾝ、マアジが0.3トﾝ、ヒラメが大きく増えて0.3トﾝ水揚げされた。

底びき網では、コウイカが減って大主体に0.8トﾝ、マダイが大きく増えて大主体に0.4トﾝ、ホウボウが大きく増えて0.3トﾝ水揚げされた。

2. 海部沿岸（標本漁協：4）

釣りでは、タチウオが減って1.8トﾝ、カツオが増えて中主体に1.5トﾝ、ブリが減って0.2トﾝ水揚げされた。

建網では、ヒラメが増えて0.3トﾝ水揚げされた。

小型定置網では、マルアジが大きく増えて小小主体に1.3トﾝ、メジナが大きく増えて中主体に0.4トﾝ、カタクチイワシが大きく増えて小主体に0.3トﾝ水揚げされた。

大型定置網では、ブリが大きく増えて大主体に6.7トﾝ、マサバが大きく増えて小小主体に5トﾝ、マアジが大きく減って小小主体に2.7トﾝ、ヒラソウダが大きく増えて0.4トﾝ水揚げされた。

漁獲量集計表（漁獲量が0.2トン以上のものを抜粋）

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量	(kg)	銘柄	前週比
					1日1隻あたり 平均漁獲量		
紀伊水道	延縄	25	タチウオ	893	36	特大主体	
		13	ブリ	439	34	メジロ級主体	
	建網	22	カワハギ	221	10	大主体	→
	小型定置網	17	ブリ	1,268	75		
		16	マアジ	345	22		→
		17	ヒラメ	270	16		
	底びき網	26	コウイカ	848	33	大主体	
		20	マダイ	446	22	大主体	
		26	ホウボウ	339	13		
海部沿岸	釣り	26	タチウオ	1,806	69		
		21	カツオ	1,540	73	中主体	
		18	ブリ	207	11		
	建網	26	ヒラメ	333	13		
	小型定置網	15	マルアジ	1,267	84	小小主体	
		13	メジナ	382	29	中主体	
		10	カタクチイワシ	335	34	小主体	
	大型定置網	5	ブリ	6,708	1,342	大主体	
			マサバ	4,985	997	小小主体	
			マアジ	2,694	539	小小主体	
ヒラソウダ			364	73			

前週比 200%以上: 120-200%: 80-120%: 50-80%: 50%未満: